

発行日 \*\*\* 2010年5月1日 e-mail: akutagawa\_dayori@yahoo.co.jp

皆様からの投稿をお待ちしております

<http://www.justmystage.com/home/akutagawa/>

\*\*\*\*\*

一部50円です

\*\*\*\*\*

## 鳩山さん頼みますよ！



「5月末までに決めます」と幾度も繰り返す鳩山さん。腹の底では腹案があるんですね。これだけ基地予定地のみんなが反対するんだから無理やり強行は出来ません。アメリカに対して丁寧にお断りするしかないです。

アメリカがどうするかは分かりませんが、鳩山さんは、勇気を持って「日本には適当な基地予定地はありませんから、どうか他で探してください」とビビリながらも言うんじゃないかな。

マスコミなどから批判が多く出ていますが、鳩山さんがそれを



言ったらマスコミや自民党でさえ鳩山さんを批判できなくなる。今はアメリカの言うなりのような報道もありますが、鳩山さんがアメリカに頭を下げて、「国民の総意は国内に基地を移設して欲しくない」とオバマさんをお願いしたら、日本中の国民が鳩山さんを応援するにちがいない。世論は鳩山さんに一気に傾き、マスコミも鳩山批判が出来なくなるにちがいない。だって、沖縄は日本の領土であり主権は日本にあるのであるから、日本がアメリカの基地は要りませんと言えればアメリカはどうするだろうか。

世界平和の旗手として期待されているオバマさんはどうするだろうか。無視して沖縄に居続けるか、撤退するか。今度オバマさんが、我ら日本人が期待したようなアメリカ大統領なのか、そうでないのか問われる。間違いなくアメリカは日本から基地を引き上げる。

さしたる問題もなく平和裏に片付く問題である。数年後には話題にすらならないようになっている。日本にとっては大きなアメリカだが、アメリカにとっては小さな日本だ。これまで誰も怖くて言えなかったアメリカにやっと言える時が来たのだから「鳩山さん死ぬ気で言ってよ」。

この問題は、5月末で解決する方向が決まり解決すると私は思う。(嘉)

女が男に愛想をつかすのは、意外にも金ではない。浮気なのである。男の甲斐性などといきがつて遊んだツケは、皮肉にも忘れてしまった老後に来るのだ。

男は能天気忘れてるが、女はけつして忘れはしない。忘れるどころか金利がつくように腹の底にしっかりと怒りを増幅させて仕舞い込んでいるので、馬鹿な男どもは女が当の昔に忘れてっていると勘違いするのである。

ある良家の奥様曰く「私はいつでも主人と縁の糸を切ってもいいのよ。ハサミはいつもといであるのよ。銀行の口座も私名義にしたし、カードも自分名義にしてある。主人は単身赴任で好きに遊び惚けているよ。うだけど、私はどうでもいいのよ。」

彼女の話を聞けば、還暦を越えた主人はずいぶん遊んでいるらしい。女がいるのだ。心底愛想が尽きた風で幾度も離婚しかかったと言うが、遠距離の単身赴任であるために当座の生活は結婚してしようと支障がなかったのでつづけているだけだという。

「最近主人からご機嫌伺いのような手紙がよく来るのよ。別に何の情も起きないけど離婚したら年金が半分になるから、急いで別れる必要も無いと思うようになったわ」。家内は知らないと思っている男は覚悟をすべきです。居場所はないですよ。

梵店主

限られた時間で寄付金を集めたり装備・食料を調達するのは大変ではあるが、経験できないような面白い事もある。そのひとつに新たな出会いがある。

エライ先輩や大学関係者などよっちゃんが普通の生活では会うことすら出来ないような人と出会い、話が出来ることである。たとえば薬品会社に勤める先輩

があれば、遠征隊に必要な薬品リストを持つて行きお願いするのである。そうすれば先輩とは有難いもので、訪ねて来た後輩に飯をおごってくれて、希望リストの数量を越えて用意してくれた。そのう

え幾らかの金をカンパしてくれた。

寄付金依頼趣意書というものを作つた。「今回の海外登山は未踏の山城の学術調査および地域住民との交流や人文

学的な民族調査などの文言を入れて単なる山登りではありません。価値ある遠征隊である」と書く。その趣旨に賛同してくれる著名な人の了解を得て名を連ねると出来上がる。この依頼書を送付しても金はもらえない。送金してきてくれるありがたい一部の先輩はいるが、たい

次のよっちゃんは考えて新聞社に勤

めている先輩を訪ねた。その先輩とはあまり親しいわけではなかった。就職

の時に先輩の新聞社を受けるように言いながら受けなかったこともあり少し

気まずさがあった。それが先輩はよっちゃんが社を訪ねて資金集めに苦戦し

ている旨を説明すると役に立つか分からぬが記事を書いてくれると言う。い

わゆる提燈記事というやつである。数日後よっちゃんがしゃべった通りの文

面が朝刊の三面記事に載った。新聞に載ったからといって金集めが

進むわけではなかったが、新聞に出た事で周りの者たちの気合が入ってき

た。何とか成功させないかんといい勢囲気が先輩達から少し起きてきたので

ある。

一番心配してくれていた会長が、よっちゃんたちの窮状を見かねて金集め

のための旅行団を組織し応援してくれ

である。パーミヤンの石仏なども写真に残っている。

また熱心に応援してくれた先輩が呉服の展示会を企画してその収益金を

寄付してくれたこともあった。企業からの寄付金依頼の活動も頑張っ

てやったが、労多くして益は少なかった。飛び込み営業のようなマネも

した、5軒訪ねて1件が3千円か5千円ぐらいをカンパしてもらった。

先輩達にも手紙を書き寄付をお願いしたが、思うようには集まらなかった。

よっちゃんは、毎日準備に追われながらも非常に充実した気持ちであ

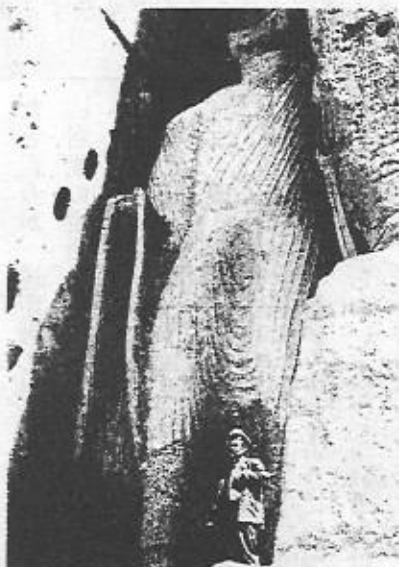
った。夢に描いた海外登山がもうすぐ実現するのである。金も思ったよ

うに集まらないが、何とかなるように思っていた。パキスタン政府への

登山料や保険、リエゾンオフィサーへの日当など計算してくると、ドン

ドン金が必要。従来のような遠征隊は組織できないので国内の山を登っ

紀元4世紀につくられたパーミヤンの大仏。タリバンに破壊されて、現在は見る影もない。



てきたような装備や方法で金をかけずに登る以外に方法はないということになった。

全ての経費を幾度も検討して最低限の装備・食料にして荷運びも自分

たちが出来るだけしてポーターの数を減らすことにした。荷物の量を減

らす事は、通関や航空運賃、現地での馬やロバの頭数などを少なく出来たが、快

適で安全な登山からは遠のくが、よっちゃんはそのような事は一向に気にならなかった。

こんな事を毎日やっていると遠征隊の中毒にかかったようになる。よっちゃんは新聞

配達をやめ兄が始めた商売を手伝う立場になつていたが、頭の中は遠征隊のことばかりで仕事の方には気合が入っていなかった。現

役の山猿と由べえは大学の合宿所に装備食料を集め梱包作業やその他諸々の仕事に追

われ寝泊りも食事もするようになっていた。そうなる子供達の遊びのような楽しい空間がいつも広がっていた。よっちゃんたちは、子どものように無邪気にはしゃぎまわつて初めて行く海外の秘境ヒンズークシユの山なみを想像していた。

よっちゃんの頭の中は、今回の遠征隊が世界的な登山家へ続く夢のような道に思えて、ウキウキした思いばかりが支配していたのだ。

## 義兄とその家族 (5)

森ノ宮成人病センターで、義兄の抗ガン剤と放射線による治療が始まった。瘦せ細った体にまとった病人用の浴衣の胸元に、不気味な紫色のラインが見える。放射線治療の目印なのだろう。義兄には悪いが、ホラー映画を連想してしまう。どちらの治療も、素人には義兄から元氣や生気を奪っていくもののように思えた。義兄は食事が満足に摂れなくなつて、鼻に付けたチューブで栄養剤を胃に送るようになり、さらに痩せた。

だが、吐き気や痛みなどは、かなり薬でコントロールされるようになっていたのだろう。義兄はベッドの上で比較的穏やかに過ごしているように見えた。もちろん、ぐったりと寝ている日もあったが、たいていパソコンでゲームをしたり、本や雑誌を読んだりしていた。義兄に付きっきりの姉の方は、穏やかとは言いがたい日々だったと思う。義兄の白血球の数値に一喜一憂し、義兄が食べるものや飲むものにはうるさいほど神経を使うのに(チューブを付けるようになって、それもできなくなっていたが)、自分の食事は「一人では食べられない(へんねん)」と、見舞いに行った私と外食をすることが多かった。外食といつても、病院のまわりのファミレスか駅近くのお好み焼き屋などで、私は姉にいくらでもおいしいも

のを御馳走したいと思っていたが、姉は「疲れてるし、ここでええやん」と足を運ぼうとはしなかった。

そして、食べながら、「昨日帰るとき、具合が悪そうやったから、夜中に病院から呼び出しがあるような気がして、服を着たまま寝ててん」などと言う。姉はスーパー主婦ではないが、食べることや寝ることをひと倍大事にしている、昼間着ていた服のまま寝るようなことはしない。きつと、ちゃんと風呂に入り、ふだんならパジャマを着るところを、病院に飛んで行けるよう服そうを整えてふとんに入ったのだ。いまにも電話が鳴るのではないかと脅えながら体を横たえている姉を思うと胸がつかまる。そのくせ、口をついて出る言葉は「パジャマぐらい着て寝えや。疲れ取れへんやん。取り越し苦労してても、しゃあないやん」「姉ちゃんが倒れたら、一番困るんは義兄さんやんか」と非難がましい文句か小言みたいなことばかり。本当は、アメリカの映画やTVドラマに出てくる人たちみたいに、ギョッと姉を抱きしめ「大丈夫、大丈夫、義兄さんは絶対に死なへん」と囁きたいのだが、悲しいかな、私は不器用な日本人。姉の手からシートをひたたくって、レジへ持って行くのが、せめてもの姉への気持ちだった。「心配してくれんでも、大丈夫や

で。保険も入ってるし、会社も給料くられてるから」と姉は言ったが、私にはほかに姉をなぐさめるすべがなかった。

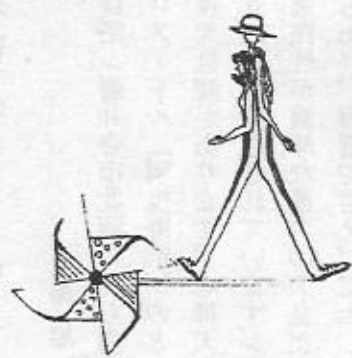
そんな私と違って、弟は役に立った。車の運転ができるので、週末、義兄の外泊の送り迎えをした(胃にチューブを入れていた間は帰れなかったが)。弟も会社勤めをしているが、姉の家と弟の家は車なら5分ほどの距離。金曜の夕方、病院に迎えに行き、月曜の朝、送って行った。

義兄と姉の息子夫婦は伊丹に住んでいて、逆方向。それでも、「オトンの送り迎えは僕もするから」と申し出たようだが、姉はどちらかという弟の方が頼みやすいようだった。息子夫婦には小さい子供が二人いて、とくに下の子は生まれたばかり。たまたま転職をして、新しい会社が変わったばかりだったこともあって、姉は遠慮したようだった。だが、自分で遠慮しときなが

ら、姉は矛盾したことを言っただけはダメ息をついていた。「『お父さんを見舞った。あとでアンタが後悔するんで』とまで言うてんのに、ちつとも病院に来えへん」。そのくせ、息子一家が「週末に、オトンとオカンの家に行く」と言うとき、姉は「お母さん(自分のことだ)、もうクタクタやねん、とつてもアンタらの面倒みられへん」と拒絶。姉の気持ちもわからぬではないが、「それでええのん」とも言いたくなる。

だが、その息子一家に、義兄を元気づける「特效薬」がいた。義兄の孫にあたる、3歳のメイちゃんだ。女の子らしく、口達者で朗らか。義兄の髪が抗ガン剤で抜け落ち、坊主頭になったのだが、その頭を見て、メイちゃんはニコニコあつげらかんと聞いた。「あ! 散髪、行ったん?」。子供って、本当にスゴイ。義兄なりに、少しは気にしていたかもしれないのに、メイちゃんはあると受け入れ、その柔軟さをみんなにうつしてしまふ。「義兄さんって坊主頭、意外に似合うよね」「うん、アタマの格好がええやろ」

弟の子供たちは小学生と中学生。メイちゃんのようなわけにいかず、ガンという病気にかかってしまった「おっちゃん」に会うのを怖がった。とくに義兄になついている上の子はナイーブで、うつむくばかり。(AO)



「介護は至難」

老人ホームの家族会の会員に「親をこんな所に入れて後ろめたい」と言う人がいた。

私もそう思っていた。私の母は、舅・姑と同居し、仕え、10年近く介護し、最期まで看取ったからだ。

私は次男だったが、母と同居した。理由は、母と兄嫁は仲が悪かったからだ。明らかに同居は無理だった。思春期の頃から「親の面倒は俺が見るしかない」と思うようになっていた。

結婚に際しては同居を承諾してくれそうな、心根の優しい女性を選んだ。母も心根の優しい女性だった。二人は仲良く20年間、同居した。

しかし、最後は別居した。理由は色々ある。詰まるところ、『経年劣化』でも言おうか。

ある時、母が別れの手紙を残して出て行った。事前に相談はなかった。私が困るだろう、と思ったに違いない。それから1人暮らしを始めた。82歳にしてなお気丈だった。

5年ほどして体調を崩した。猛暑なのにクーラーをかけず、脱水症状に陥った。それから私が、介護に通い出した。妻も手伝った。3年ほどして骨を折り、老人ホームに入り、5年ほどし

て、96歳で亡くなった。

最晩年に母に寂しい思いをさせて心苦しかった。

しかし、今は思う。『これで良かったのだ。今のような核家族制の下では家族が親を介護するゆとりがない。無理すると家族が犠牲になる。それは親にとって、最も悲しいことだろう』と。

当然、私は晩年に我が子に介護して貰おうなどとは思っていない。(龍)



俳句

薫女

- 大屋根の猫のあくびや小春日よ
- 春月に耳をすませば下駄の音
- 川風をはらみ幾百鯉フェスタ
- 春耕のトラクター追うや白い鳥
- 甘茶かけ手を合わせるや友の寺

高槻について考える その3

敷島旭

私の自宅(藤井寺市北岡)から南東約3キロメートル(羽曳野市)のところに応神天皇陵があります。応神天皇は第十五代の天皇とされていますが、一方で実在性が濃厚な最古の天皇だという説もあり、西暦で言えば二七〇年〜三一〇年まで在位したようです。

自宅の近隣には、他にも応神天皇の父である仲哀天皇、豪族の力を抑え、初めて専制権力を行使した第二十一代雄略天皇などの古墳があります。

この度、高槻市にも多くの古墳があることを知りました。その中でも、今城塚古墳が第二十六代の継体天皇の墳墓であるとされていることに私はたいへん興味を覚えました。

なぜなら、継体天皇は応神天皇の五世代後の子孫だとされているからです。もし、それが本当なら、私の住んでいる地域と、高槻市は縁が深いということになるのではないかと、思ったのです。

しかし、ある学説によると、本当はそうではなく、継体天皇は、雄略天皇以降乱れた国政の中で、それをおさめるために、諸豪族によって北陸から招かれた、ある一族の王だったということです。つまり継体天皇は、それまで

の天皇の系譜とは異なる新王朝で、現在の天皇陛下に直接つながる先祖にあたるのだそうです。

こんな資料を読んでいますと、さらに面白いのは、こんなはるか昔、日本内部の権力闘争が朝鮮半島の、新羅、百済、高句麗、そして日本の影響下にあった伽耶(カヤ)の国々の国家間闘争と連動していたということです。詳しくお知りになりたい方は、ひとつの資料として歴史研究家の関裕二氏の書籍を読まれるといいでしょう。

関氏の仮説には大きなロマンを感じさせるものがあります。もちろん関氏の描くストーリーの詳細はどこまで正確性があるかわかりません。しかし、大陸と日本は古代から政治・経済・社会・文化上、深い繋がりがあったことは疑いないことでしょう。古代日本は国際社会に属していたわけですから。

ただ、時代が下った八九四年、菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されました。それ以降、日本は言わば鎖国に似た状態になります。以来、大陸、



継体天皇像(福井市)

ぐとの文物の交流は細々としたものでなつたと想像できますが、一方で“国風文化”という独特の文化が生まれます。平安時代以降のさまざまな文化様式です。完全に鎖国政策をとった江戸時代は当然ながら、この時代より後、日本は外の世界と盛んに接することはやめてしまったように感じます。

明治維新によって国は開かれまし  
た。とはいふものの、実際のところ、  
日本は永い内向きの政治、経済・社会・  
文化を形作ってきたために、日本人に  
は内向きのDNAが根深くはびこつて  
いるのではないかという気がするので  
すが、どうでしょうか？ 今、私たち  
日本人の多くが、自分たちの、身の回  
りのことや、今日明日にかに穩便に生  
きるかにばかり気を取られているよう  
です。その間に、近くの大陸の国々は、  
世界の情勢についてゆこうと、どんど  
んスピードアップしています。

中国、韓国、ベトナム、インド、シ  
ンガポールなどの勢いは、今やはるか  
に日本を陵駕しているように見えま  
す。古代の日本人の国際感覚をもう一  
度、私たちは取り戻さなければならな  
いのではないのでしょうか？

私の自宅の近隣で祀られる応神天  
皇、雄略天皇、高槻市に眠る継体天皇  
は、当時の国際情勢の中で、戦略的に  
日本を考えたに違いありません。

## 海兵隊には出ていつてもらおう

昨年十一月、テレビの政治討論番  
組の中で、自民党の元防衛相石破茂が  
こんな発言をしていた。米軍の普天間  
基地を名護市辺野古へ移転するのは国  
家の安全保障の問題であり、名護市の  
民意を超えたところにある、名護市長  
選で誰が当選しても関係ない、と。こ  
れを聞いて僕は、名護市民、沖縄の人  
たちを見くだしているじゃないか、と  
カチンときた。そしてズルイと思った。  
石破がほんとうにそう考えるのなら  
ば、自分の鳥取の選挙区に基地を移転  
すればいいのだ。国家の防衛の問題な  
んだから、県民に反対されようが、鳥  
取に基地をつくればいいだろう。

石破の発言は、自民党の沖縄にたい  
する向き合い方をよくあらわしてい  
る。こうして日本政府は、一九七二年  
に沖縄が返還される時、「核ぬき・  
本土なみ」とフレーズで沖縄の人に期  
待をもたせながら、その後も米軍基地  
を縮小することなく負担を強いてきた  
のだ、“アメとムチ”をつかつて。

背景の一つに、いわゆる本土人の沖  
縄基地問題に対する関心の薄さがあ  
る。米軍兵士の犯罪が散発的に報道さ  
れるたびに、遠い南の島にいつとき  
の同情をよせるだけで、基地問題を深刻  
に考えることはない。本土人のこの無

関心さが、沖縄に負担を押しつけるこ  
とに加担しているのではないかと思  
う。

太平洋戦争末期、日本は沖縄を捨て  
石にし、沖縄の人たちを見棄てた。硫  
黄島で死闘がつづくころ、沖縄では米  
軍上陸にそなえ、兵力不足を補うため  
に県民が動員された。女学生や中学生  
までも戦場にかり出され、軍民一体の  
総力戦になる。連合国軍が上陸すると、  
壮絶な戦いが繰り広げられた。大本営  
はこの沖縄戦を、本土決戦の態勢を確  
立するための時間稼ぎとして考えてい  
た。沖縄を捨て石にしたのだ。

軍民玉砕であるから、県民が餓死し  
ようが、軍は意に返さない。むしろ非  
戦闘員は、軍務遂行にあたって邪魔で  
あるから、虐待、さらに虐殺へと発展  
する。沖縄戦の特長は多くの県民を戦  
場に巻き込んだことと、米軍だけでな  
く日本軍による虐殺もあったことであ  
る。また日本軍から直接・間接に集団  
自決を強要されるという悲劇もあっ  
た。

沖縄は大戦中にこれほど塗炭の苦し  
みをなめたうえ、戦後はアメリカの施  
政化におかれ、基地の島として屈辱の  
苦しみがつづく。七二年の沖縄返還後  
四十年近く経った現在も、苦しみは軽  
減されない。面積比で在日米軍基地の  
七十五パーセントを沖縄が引き受けて

いるという現実を考えても、沖縄に新たな  
基地をつくる選択肢はありえないだろう。

そもそも普天間基地移設は日本の安全  
保障の問題なのだろうか。普天間に駐留す  
る海兵隊というのは、敵前上陸を任務とす  
る侵略部隊だ。防衛部隊ではない。その海  
兵隊が沖縄に駐留する存在理由とは何な  
のか。よくいわれるのは「抑止力」である。  
では何にたいする抑止なのか、となると、  
曖昧になる。どうも北朝鮮有事を想定する  
ようだが、たとえば、北朝鮮が日本にたい  
して侵略もしくは攻撃を仕掛けてくる可  
能性がたかい、だからそれを抑止するため  
に海兵隊が存在しなければならぬとで  
もいえるだろうか。北朝鮮が日本にたいし  
て領土的野心をもっているとは考えられ  
ないし、そんな侵略ができるような能力の  
ある海軍はもっていない。国家が壊滅され  
てもミサイル攻撃を仕掛けてくる可能  
性があるかといえば、そんな危険性は限り  
なく低いだろう。北朝鮮がそんな自棄のや  
んばちならば、海兵隊が存在していようが  
なかるうが関係ない。

侵略部隊の海兵隊を抑止力として駐留  
してもらふこと自体、憲法違反であると僕  
は考えている。海兵隊にかぎらず、米軍基  
地が日本に存在すること、ひいては日米安  
保という軍事同盟は憲法違反の疑いが濃  
厚だということだ。

国内に基地移設先はない。したがって、  
海兵隊は出て行つてもらう以外ない。(蕨)

「普天間基地移転問題」

明石幸次郎

鳩山内閣は、政権発足時には70%以上の支持率を誇り、自民党政治体制では解決出来なかった、経済、社会の停滞、混迷を「友愛政治」で何か解決してくれそうな期待感と高揚感がありました。7ヶ月経った現在、その支持率が30%を割って、鳩山首相の支持率は下がる一方です。

その原因は、母親から毎月にしたら1500万円もの献金を貰っていた偽装献金問題、高速道路無料化問題、子供手当等の財源問題、更には沖縄普天間基地移設問題などで、内閣の長としてのリーダーシップ力と決断力、政治的解決能力がないように言われていることにあると思います。

特に普天間基地の移転問題は沖縄県外移転の方向で5月までに目処を立てるとアメリカの大統領にまで言い切つて、更には国会で県外移転先の腹案があるように言って沖縄県民に期待感を持たせていました。マスコミからは色々と移転先が取り上げられていましたが、一向に首相の腹案が見えて来ませんでしたが、4月28日に徳之島出身の有力者に首相自ら会いに行つて、

徳之島に基地の一部移転する案を述べて、地元との話し合いに仲介の協力を要請したが、それを断られた、と読売新聞は報道しています。読売は同時に、移転先として県内移設の現行案を基本に政府案として関係者との協議を進めると報じています。

これまでは、最低でも県外移転と首相は言っていました。現行案に戻ることは、沖縄の人に今まで期待感を持たせ、先の総選挙で県外、国外移転を公約に挙げて、沖縄県は民主党が全選挙区で圧勝しましたが、これでは完全に公約違反となり、民主党政権に失望せざるをえません。

元々、普天間基地の移設問題は1996年4月に「普天間基地の移設条件付返還」でアメリカとの合意を元に5年後から7年後までの全面返還を謳つて、「十分な代替施設が完成し運用可能になった後」という条件付返還です。

それ以来、6年の紆余曲折を経て、やっと2002年7月に辺野古沖2キロメートル付近のリーフ上を埋め立て、2000メートルの滑走路を設けると言う案で、政府・沖縄県・名護市の合意がなされました。しかし、2005年に移設作業が進行しないことで、移設先を辺野古崎沿岸部を埋め立てる現行案(滑走路V字型配置案)を2006年に閣議決定して、この案は仲井真沖

縄県知事も容認していました。

このように、基地移転問題は10年も経て現行案がやっと関係者の合意(沖縄県民の総意ではないが)が得られるように、難問中の難問であります。鳩山政権が前自民党政権の曲りなりにも苦心してまとめた案を簡単?に否定し、県外、国外移転のベスト案の実現を追うならば、鳩山首相がその胆力と覚悟、相当な準備、高度な政治的判断力を持つて、優秀な官僚、スタッフの力を借りて熟慮断行をしなければなりません。それは、全ての政策実現にも言えますが、民主党が掲げたマニユーフエストが色々後退しているのは、鳩山首相が基地問題に象徴されるように、政策的難問を乗り越えて、政治的な解決を見出す政治的能力に欠ける、友愛的ぼんぼん政治家なのでしょうか。

このような状況では、国民の民主党政権に対する不満と失望が広がって、強いては、政治不信、政治無関心層が多くなつてしまい、鳩山さんが掲げる友愛社会の実現が益々遠ざかってしまっています。5月末までの普天間基地移転問題はどうか決着を見出すのか、関心を持つて、鳩山首相の政治力を見守りたいものです。

飛行場建設という公共事業

普天間基地移転は、当初ヘリポート用の小規模の施設だったはずのものが、L字型とかV字型という大規模の飛行場建設へと拡大したのはなぜだ。そもそも沖縄の基地負担軽減のために危険な普天間飛行場を閉鎖し、移転しようとする案したのはアメリカであつて、その条件としたのは小規模のヘリポート建設だけだった。米軍は海上ヘリポートだけでいいといっていたものを、ジュゴンやサンゴの生息海域を埋め立てて飛行場へと大規模化するわけだ。これが、安全保障とか抑止力という問題なのだろうか。むしろ仕分けの対象になるような公共事業のように見える。

基地で潤うことを期待する沖縄経済界が飛行場建設を強く要望するということもあつたようだが、そういう経済効果という「アメ」をつかつて、基地の受け入れという「ムチ」を強いてきた自民政権のやり方はもはや通用しない。これからは基地を縮小する方向に政策を転換しなければならぬだろう。そのためには従来の対米従属関係を改める必要がある。(猿)



## 梵店主

恵まれた境遇に生まれ育った人に共通して見うけられることのひとつに、本人がそのことを自覚していないことがあげられる。私から田中さんを見れば何にもかもが恵まれてるように思えたが、本人はそのように思っていない様子であった。

戦争によっておじいさんは全ての貨物船を失ったが、戦後おとうさんは神戸の船関係で仕事されて、田中さんは何不自由なく育ったのである。神戸の甲東園にあった自宅は地震で半壊して住めなくなったが、それまでは閑静な住宅街にあつて幾度もおじやましたものだ。

自宅から少し離れたところに書斎を借りていた。家賃二万の洒落た倉庫風の二階建てであつた。ずいぶん前から借りていて、本人は、

「男は隠れ家を持たないといけない。家にばかりいると気が変になる。ここへは妻をはじめ子供達も来ないように言つてある。お前もどこかで部屋を借りて静かに過す時間を持つようにしないとあかん。」

といつも言われたものだ。そんな書斎も地震で全壊してしまうのだが、当

時はうらやましい書斎であつた。

入口はガラスドアになっておりいつも閉ざされていた。開けるのに苦勞するような代物であつたが、洒落た塗料が倉庫全体に塗られ木の柔らかさが田中さんの人柄と似かよつて見えた。

一階の部屋の中にはおびただしい古本が積み重ねられ海外の古民具や織物が掛けられていた。下の部屋にはピン詰めされたトラのキン玉から蛇などがリカー漬けされていて、行くとたびに田中さんは私に実験するように元氣の妙薬をいくつも飲ませてくれた。なかでも田中七人參の効用を得意になつて説明を受けた。

部屋中に置かれていたものは全て古道具やいらなさそうな変わったものばかりであるが、その地図は特に変わつていた。世界地図に待ち針が幾本も刺されていたのである。私が、



田中さんが開発した「熟田七粉精」極秘ルートで入手した田中七人參を一つ一つに砕き、粉末にしたもの。強壯剤のみならず、止血剤としても優れている。ベトナム戦争のとき、中国兵が常備していたことで、知られるようになった。

「これはなんですか？」とたずねると、

「これはな、船が沈んだところや。昔の古文書から金貨や財宝を積んでいた船が嵐などによって沈没した場所に針がさしてあるんや。宝探しをしようとおもうてな」

「なんとロマンのある話ですね」と言いながら私は思った。

「この人は何を考えているんだらうか。バカじゃないかしら」と。

しかし、その狭い部屋の空気が静かで清らかなものであつた為か田中さんの少年のような氣持ちを素直に受け入れたものであつた。

夏の昼下がりに行くと田中さんは一人静かに本を読んでいた。

「おお、しもやんか。久しぶり、元氣か」

と氣さくに迎えてくれた。

「タイの奥地で探してきた元氣のである種やで、ちよつと食べてみて結果を報告してくれ」

と言つて栗ぐらいの粒をくれた。

この種はなかなかのもので、後年ふたりで元氣の出る餡が作れるのではないかと製菓会社に売り込みに行ったことがある。会社から少しの謝礼をもらったのだが、その後私たちが提案した餡と似た製品が発売された。売り込み方が拙かつたと思つた。

## 編集後記

「亀は万年、鶴は千年、鳩は一年」という人がいるが、鳩山さんには頑張ってもらいたい。なんとかこの難局を越えて、最低年金7万円という制度を確立してもらいたい。

日本の防衛問題をこれ程クローズアップした内閣ははじめてではないか。出来るだけ情報を開示して、密約なるものを作らずに堂々と外交交渉をやつて欲しい。

今回は、あえて政治問題を書きました。それぞれの考えを盛り上げて議論し世論をマスコミに任せるのではなくて、われわれ無名の一般人が作りたいと考えたからです。専門家や政治家に任せたらあきません。みんながそれぞれ意見を言つて考へなこの国の政治は変わりません。

鳩山さん、どうか投げ出さずにこの問題を粘り強く、かつこ悪くても、マスコミにバカにされても、どうか諦めずにアメリカがあきれ返るほど、バカ正直な交渉を国民の見える舞台でやつてもらいたい。

全国紙をはじめ最近のマスメディアの偏向報道には目に余ります。そんな報道に惑わされず、それぞれ自分の頭で考へて、ものごとを見極めたいものです。

百歳音頭

一、ハアー春はらんまん 花づくし  
ひびく太鼓に こころもはずむ  
歳を忘れて 踊ろうじやないか  
踊れば体も 若返る

ヨイショ

人生五十は 昔の話

百まで丈夫も 夢じやない ソレ

サアサ踊ろよ 百歳音頭

百歳音頭で

みんな晴ればれ 日本晴れ

二、ハアーいつか心に 秘めたひと

今でも元気で 暮らしているか  
歳を忘れて 踊ろうじやないか  
踊れば悩みも 消えてゆく

ヨイショ

仲間どうして 励まし合おう

百まで丈夫も夢じやない ソレ

サアサ踊ろよ 百歳音頭

百歳音頭で

みんな晴ればれ 日本晴れ

三、ハアー可愛い孫子にかこまれて

明るくゆとりの 毎日がある  
歳を忘れて 踊ろうじやないか  
踊れば気持ちも 軽くなる

ヨイショ

笑って生きれば 幸せがくる

百まで丈夫も 夢じやない ソレ

ヨイショ

笑って生きれば 幸せがくる

百まで丈夫も 夢じやない ソレ

サアサ踊ろよ 百歳音頭

百歳音頭で

みんな晴ればれ 日本晴れ

手作り味噌づくりは約三十年

歳をとるとは、それだけ長い歲月

生きて来たということ。当然その間

さまざまな事が思い出されてくる。

農家に生まれ猫の手も借りたいと

はこの事。やれやれ夏休みが来たと思

えば、母が待っていて味噌・醤油

づくりの準備をする。全て自家製、

味噌豆選別は冬仕事。

三升鍋に豆一杯、水かげんは母の

仕事。火当番は私の仕事。火が途切

れないように適当に薪を放りこんで

ゆく。夏の仕事だから大変、ふきこ

ぼれない程度に火のかげんをする。

時々母が鍋を見てかきまぜる。やが

て煮上がり具合を見て手際よくつぶ

しが利くようにする。おまけに、か

ら臼でつくのだからギタタンギタタ

ンとつてもしんどい仕事。二銭ぐら

いの小遣いにだまされて、半日使わ

れるのだから、また次から次へと要

領よく子どもを使う親だった。

次はこうじ。竹張りすのこの天井

にこうじがねかされてある。「きれい

に白くなってるか見天井へ行っ

て」と言われるとドキッとす。

真っ黒な天井に、かすかな天窓か

ら明りがさしているのを目標に見る

のだから、薄気味の悪さは今でも忘

れられない。二、三日経つと母が、

天井へ上がる。「上出来、うまい具合

に出来ている」と笑顔を浮かべて降

りてくる。上出来という意味がわか

らないけれど、あの当時の事今でも

目の前にくっきりと浮かんでくる。

手順はすっかり忘れてしまったけ

れど、仕込まれた材料からポトンポ

トンと落ちて桶の中にたまってゆく

のが現代という薄口醤油の味の方

に思う。桶の中にある薄くらいもの

を、子どもの頃に上下に混ぜること

を言いつけられたのは、あれが味噌

だったこと。

あの味噌の味、醤油の味はどこに

もない。母の存命中に聞いておけば

よかったと。古い記憶は少し残って

も、すぐ消えてしまう。

年金を介護保険に狙われる

医療・介護・年金などの社会保険

制度が崩れ落ちようとしている。誰し

も訪れる高齢期という人生のステー

ジを迎え、どのように生きていきたいの

かと迷う自分がここにあり、そうした

高齢者の声は政治には届きにくい。

自宅だと望んだ主人も実際には思

う介護が出来なかつたこと。さて入院

してみると看護師が必ずしも十分と

は言えないけれども、病院の実情もあ

り二四時間体制のきめ細かい介護・看

護体制も必ず整っているとはいえな

い。

だから在宅か病院か施設かの三者

択一の選択肢が必要。その点では、高

齢者向けのケア付住宅は解決策の一

つになるだろうが、誰が手をつけるの

か。案だけで終わるのか。

特別養護老人ホームの入居希望待

機者を入らずことも出来るのか。た

だ、有料老人ホームケア付住宅とい

えどもいろいろあるらしい。これは、

第三者によるチェック体制を整える

必要がある。

夏物お仕立てセール

着物地の絹、紗、麻から  
涼しい洋服を仕立てます

